



かどっぴー・がわっぴー

門川町教育研究所だより

# ふれあい

平成29年3月号(N010)  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

## 研究員6名が県の第34回研究発表大会で研究の成果発表!

さて、本年度の最終号となりました。今回は、この一年間、本町の教育的課題の解決に向け、「ICTを効果的に活用した授業づくり」の研究実践に取り組んできた6名の研究員が、その集大成を研究発表大会で発表しました。発表当日までの取組概要をご紹介して本年度の研究所活動報告のまとめにしたいと思います。研究員は月3回のペースで教育研究所に集まり、夕方4時45分から7時までICT活用研修を重ね計画に従って各学校で研究授業や夏季研修会を行ったり、県教育研修センターで研修を行ったりしてきました。その成果を町内各学校の先生方に広めて、指導力向上や学力向上に生かしてもらいます。6名の研究員は一年間を振り返って大きな達成感と充実感を持つことができましたと話しています。



## 研究発表大会までの研究員の研修活動の足跡を振り返ってみると



### ① 1学期：研究所でデジタル教科書研修



町内各学校に導入されているデジタル教科書を研究員がまず使いこなすことが必要です。研究を進める第一歩、基本研修を行いました。

### ② 夏季休業中：県研修センターで ICT 活用研修会



8月、宮崎の県研修センターで、書画カメラやデジタル教科書などICTの具体的な活用法を学び、実際の活用例を作成して研究員の活用能力を高めました。

### ③ 2学期：研究員の研究(検証)授業

中学校で



小学校で



### ④ 1月末：事前発表会→修正→リハーサル

リハーサル



9月、10月には、研修で学んだデジタル教科書や書画カメラ、電子黒板、フラッシュ型教材などのICTを活用した研究授業を行い、研究を進めました。同時に研究収録をまとめ1月末には発表プレゼンを作成し、事前発表会で校長先生方にチェックしていただき、修正や調整を重ねて研究発表リハーサルを実施。完成させました。

## ⑤ 2月10日(県研修センター)：県教育機関連絡協議会「第34回研究発表大会」で発表しました!

全体会場で開会行事



一番手：壱岐研究員



二番手：野村研究員



三番手：吉田研究員



開会行事の後、県内の15研究機関が3会場に分かれて発表を行いました。門川町は第2会場いっぱいの参加者(約100名)を前に壱岐・野村・吉田研究員が分担して堂々と発表し、発表後の質疑やアンケートで多くの高評価をいただきました。一年間の研究に携わってきた6名にとって大きな財産になりました。海老原研究員は駐車場・計時係、安部研究員は昼食準備係、長友研究員はパソコン操作係と全員でバックアップしました。

# 子どもの成長を支え育む「かどがわ4か条」の取組実践はいかがでしたか？

- 1条 か 家庭でメディアの約束をつくります！
- 2条 ど 読書を家族みんなで楽しめます！
- 3条 か 学習している子どもを応援します！
- 4条 わ 我が町の行事に進んで参加させます！



- 1条か 評価 ( ) 点
- 2条ど 評価 ( ) 点
- 3条か 評価 ( ) 点
- 4条わ 評価 ( ) 点
- ※合計点 ( ) 点

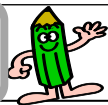


あなたのご家庭での取組結果をそれぞれ5点満点で評価すると？

かどがわ4か条について、「ふれあい」では児童生徒の意識調査や家庭学習実態調査などの結果をもとに何度もお知らせしてきましたが、この一年間のご家庭での取組状況はいかがでしたか？取組を振り返っていただき1項目5点で自己評価されて、次年度の子育てに生かしていただくとよいですね。下はあくまで例ですので、皆様それぞれの観点でお願いします。

〔評価例〕合計点 20～16＝取組優秀，15～12＝取組合格，11～8＝取組もう一歩，7～＝取組不十分

## ドリル学習のすすめ



「覚えること」と「身に付けること」は一緒？違う？

子どもでも大人でも同じと思いますが、例えば初めてスマホを手にした時、マニュアル片手にどう使うかを一生懸命覚えます。また、わかる人に教わります。その時「あっ、そうか！」とわかりますが、しばらく手にしないと使い方を忘れてしまいます。毎日、繰り返し使うことで頭と身体が自然に動くようになります。これが、「身に付ける」＝定着ということかな、と思います。

「知識・技能」の習得も同じです。かどがわ学びのサイクル（学習サイクル）を実践して自己学習力を身に付けましょう。

【授業】○理解・定着の確認 ○学習指導の工夫 ○ドリル学習の確認・評価

学習課題

【家庭学習】○ドリル学習の実践・活用 ○繰り返し練習で定着を図る

確認・評価

学校

家庭



## 教育研究所からのメッセージ

前任者からバトンを受継ぎ研究所の活動を始めて、早や一年が終わろうとしています。保護者の皆様や地域の皆様に研究所の活動状況や子どもたちに関する教育関連情報等をお知らせしてきましたが、いかがでしたか。ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せください。次期学習指導要領改訂案も公表され、教育現場もその円滑な実施に向けて様々な準備をしていかなければなりません。改訂の趣旨と内容をしっかり理解した上で全面実施に臨めるよう、学校の先生方も知恵を絞って取り組みます。明日の門川町を担う子どもたちの育成のため、皆さんの後押しが大きな力になると考えます。次年度もよろしくお願いいたします。

保護者・地域のみなさまへ

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）  
TEL・FAX 63-1566



〜〜（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）〜〜